

平成31年4月入学 地域創生科学研究科修士課程入学試験問題
社会デザイン科学専攻・コミュニティデザイン学プログラム

コミュニティデザイン学 1ページ

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. コミュニティデザイン学プログラムでは、専門科目1科目を課します。
2. 解答用紙には受験番号、試験科目名を記入してください。
3. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

平成31年4月入学 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科修士課程

入学試験問題

科目名 コミュニティデザイン学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 コミュニティデザイン学 プログラム
--------------------	---

問題： コミュニティデザインとは何かについて論じてください。また今後遂行していく自らの研究とコミュニティデザインとの関わりについて、現代の地域課題を一つ示しながら説明してください。

平成31年4月入学 地域創生科学研究科修士課程第2次入学試験問題
社会デザイン科学専攻・コミュニティデザイン学プログラム

コミュニティデザイン学 開始ページ1ページ (全3ページ)

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. コミュニティデザイン学プログラムでは、専門科目1科目を課します。
2. 受験票に記載のある、出願時に選択した科目を受験してください。
3. 解答用紙には受験番号、試験科目名を記入してください。
4. 解答は、設問の番号を記入した上で、同じ行から開始してください。
(例：問1：……………。)
5. 各設問の解答の分量に指定はありません。解答用紙が不足する場合は、監督者に申し出てください。
6. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

平成31年4月入学 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科修士課程

第2次入学試験問題

科目名 コミュニティデザイン学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 コミュニティデザイン学プログラム
--------------------	---

以下の文章は、小山直「序にかえて『浦河で生きる』ということ」(浦河べてるの家, 2002年『べてるの家の「非」援助論——そのままがいいと思えるための25章』医学書院, 所収)の一部である。この文章を読んだ上で、以下の設問に答えなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

- 問1. 下線部 (1) 「みなさんと出会って始めて、自分もこの町の『住人』になったような気がするんです」とあるが、向谷地氏はなぜ、「みなさんと出会って始めて、自分もこの町の『住人』になったような気がするんです」、と言ったのか。説明しなさい。
- 問2. 上記の文章全体を踏まえて、浦河べてると、浦河町の地域住民との関係を、コミュニティデザインという言葉を使って説明しなさい。
- 問3. あなたが望ましいと思うコミュニティデザインを実現するためには、どのような研究が有効であると考えてるか。具体的に説明しなさい。